

普及活動情勢報告（平成30年11月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

環境制御管理下での栽培技術向上、機器の普及に向けて ～JAとさし胡瓜部会環境制御技術勉強会～



環境測定装置や機器のメリットを説明する環境制御普及推進担当

11月16日19人の参加を得、炭酸ガス施用、温湿度管理等環境制御による栽培技術の向上、環境制御機器の導入促進を目的に、キュウリの環境制御技術勉強会を栽培中のハウス内で行いました。

はじめに、JA営農指導員から炭酸ガス施用下での温湿度、草勢管理など基本的な内容を、次に農業改良普及課の環境制御普及推進担当から環境測定装置のメリットや見える化の有利性を説明しました。

参加した農家からは炭酸ガス濃度や「DIF」など用語の意味、事業で導入できる設備機器など多くの質問があり有意義な勉強会になりました。

農業改良普及課は関係機関と連携して、環境制御技術の普及・定着、収量・品質の高位平準化を図ります。

葉ニンニクの産地育成～販路拡大及び集落営農の組織活動強化～



南国市の大規模農家の作業場で出荷調整方法の説明を受けているところ

11月16日、土佐岩戸米営農組合（新規葉ニンニク導入農家1名を含む）の5人が、今年から協業栽培している葉ニンニクの収穫が近づいてきたため、JA南国市の葉ニンニク栽培農家の栽培方法及び出荷調製や鮮度保持技術等を研修しました。

ほ場では、持参したサンプル株と研修先農家が栽培している株の葉色等を比較したり、調製作業方法を確認しました。

また、作業場では、具体的な鮮度保持技術や袋及び箱詰め方法等を学ぶことができ大変参考になりました。

農業改良普及課では、今後とも土佐岩戸米営農組合や関係機関と連携し、先進地のJA南国市ニンニク部会等とも交流を行い、葉ニンニクの産地育成を進めます。

イノシシの侵入を止めるぞ～地域ぐるみで獣害対策～



慎重に、農地と水路の境界を確認

10月31日、土佐市岩戸地区で水田を囲う金網柵設置場所の現地確認を行いました。これは、金網柵の設置予定水田の地権者や耕作者・関係機関が、設置場所の踏査・設置方法を協議し、関係者の情報共有化を図ろうと農業改良普及課が提案しました。

当日は20名が参加し、専門家から獣の行動特性と金網の場所について助言を受けながら、金網設置予定場所に印を付けて行きました。

農業改良普及課は金網柵の来年度設置に向け、維持管理講習会等を開催し、金網柵の設置・維持管理体制の確立を支援していきます。

地域の核となる拠点作りへ～吾北地区農業公社の先進事例調査～



公社について研修中

11月14日、吾北地区農業公社を核とした拠点つくりのために、役場、農協、農業改良普及課の7名が、本山町農業公社に複合経営拠点の先進事例調査を行いました。

当日は、本山町農業公社の体制や事業内容について話を伺いました。参加者から、地域おこし協力隊の活用、運営方法、売り上げ内容や人員配置等について多数の質問が出ました。

本山町の公社は吾北の公社からみると、規模が大きく比較はできませんが、町の取組姿勢や組織体制、協力隊の活用等今後の公社体制の参考になりました。

農業改良普及課は、吾北の農業公社を核とした取組について話し合いの場を持ち、拠点化に向け支援していきます。